

# TRY! TRY!

## あんきパンブック ～スパイラル学習～

教科書を基に、単元ごとの重要事項を児童が暗唱できるように言葉と図でまとめました!

### 【使い方】

- ページごとに暗唱し、先生に聞いてもらう。
- 1ページ言えたら、合格シールを1枚もらう。
- 1冊覚えたら表紙に大きい合格シールを貼る。
- 常に机の横にかけておき、自力解決の際に調べたり、まとめの際に暗記したりする。



がんばったらシールや賞状がもらえてうれしいな! 授業もよくわかるようになって、発表できるようになったよ。

児童は公式や算数用語を忘れて思考が止まった時、すぐに調べることで学習意欲を維持できていました。



学力FU教員

## スクリプト ～手順を明確に～

「スクリプト」とは、手順を明確に示したことを短冊にしてラミネートしたものです。論理的思考力を養うとともに、学習の理解を深めることを目指してスクリプトを活用した授業を取り入れています。例えば、写真のように前時に作成したスクリプトを確認し、本時の学習で増えた項目を赤で追加するなど、学習内容に応じて示しています。

校内研修で、全学年で「どの単元で」「どのようなスクリプトを使ったのか」を交流する場を設けて浸透を図っています。

学習のスパイラル化を図ることで、児童が手順を追って論理的に説明することに役立っています。

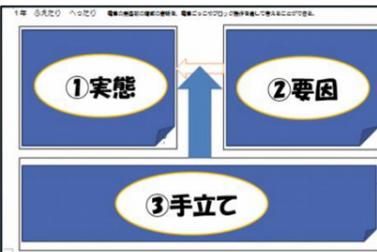


研究推進教員

## 研究体制 ～自分事として捉えるために～

### 分析

- 既習事項の定着度を把握するため、「じゅんぴテスト」を行う。
- 対象児童の誤答を「つますき分析シート」(右図)に沿って全教職員で分析する。



### 検討

- どのようなつますきが予想されるか、対象児童への手立ては適切かを検討する。

### 模範授業

- 教材(提示する問題、視聴覚教材)や板書は適切か、児童への問いかけや手立て(ワークシート等)は適切かを協議する。



### 事後協議

- 教職員が分担して抽出児童(3名程度)の様子見取り、「ぐんぐんシート」に記入する。
- 協議を終えた後、このシートに自身の指導に生かしたいこと、取り組んでみたいことを記述する。

上記の各種データは、中通小学校のHPにて公開しています。

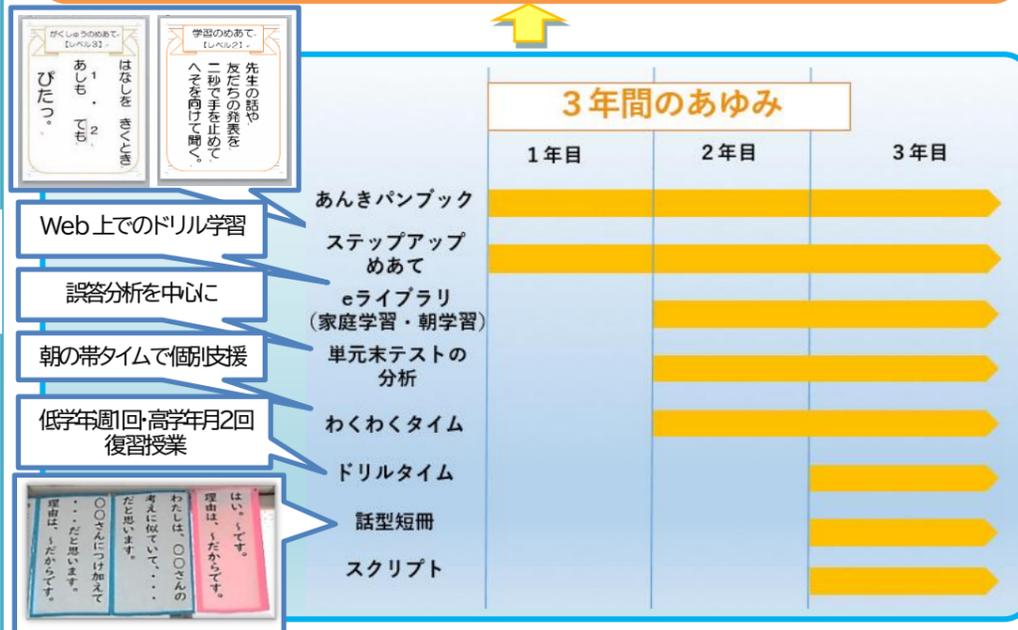
## 竹原市立中通小学校

主体的に学び、論理的に考え説明できる児童の育成  
—ユニバーサルデザインの視点を取り入れた算数科の授業づくり—

### 目標

- 単元末テストの正答率70%未満の児童の割合を0%にする 17%→0.9%に!
- 学習意欲アンケートの肯定的評価を90%以上に 87%→93%に!

### 結果



## 中通小学校 算数科 授業モデル

みつける つなげる ひらける まとめる

**問題提示**・・・日常に即した題材や、必然性のある問題の工夫をする

**見通し**・・・既習事項をふり取り、生かす

**めあて**・・・児童の言葉から設定する

**もくもく**・・・見通しを生かして、一人でじっくり問題に向き合う

**シェア**・・・ペアやグループで、自分の考えたこと(わからなかったこと)を交流する

**なるほど**・・・図・式・言葉などを使って全体で意見交流し、考えを比較・検討する

**まとめ**・・・めあてをふり取り、手順や重要事項をまとめる

**トライ!トライ!**・・・複数の課題(発展的な課題)に取り組む

**ふり取り**・・・分かったこと、なるほどと思ったこと、次に学習してみたいことなど、ふり返る視点を明確にして、自己(または集団)の学びや成長をふり返る

つますきやすい児童は、授業の時間に教師や友達の話聞いていないため、何をしているのかわからなくなる子が多いです。そんな子も、この流れに沿って学習することで板書も構造的になり、授業中見通しをもって1時間の学習に参加できています。



校長



## なるほど!実践事例

### 第1学年 100までの数 タブレットで反復練習!

《児童のつますき》  
○100までの数をよんだり書いたりできない。  
○物と数の呼称のマッチングが正確にできない。

20より大きい数むずかしいな。たくさんあって覚えられないよ。



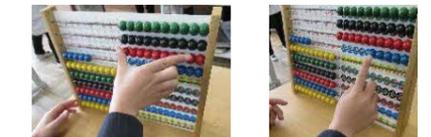
《つますきへの手立て》

① 100玉そろばんの玉を1つずつ動かしながら数を数える。

「21, 22, 23...」1から順番に数えているんだね。あれ、途中でわからなくなっちゃった!

② 10のまとまりと1の数え方を、指使いを分けて数え、タブレットに数を書く。

10のまとまりの数え方と、1の数え方がちがうんだね。



③ タブレットで「何+9」の次の数の練習をする。

「10が4つと1が7つで47」10と1を分けて数えるとかんたん!

39のつぎは、十の位が1つ大きくなるんだね。



タブレットと同じシートで何度も練習できるから便利!!

④ 100ますに1から100まで書く練習をする。

かすの、いろんなきまりをみつけたよ! 100ますをかくのも早くなったよ。



### 第4学年 2けたでわるわり算の筆算 いつでも付箋で確認!

《児童のつますき》  
○わり算の場面のイメージができない。  
○わり算の筆算で、空位に商をたてたり、たてた商が正しくなかったりする。

数が大きいわり算はどうやってやるのか、どこに数をかいたらいいかわからないよ。



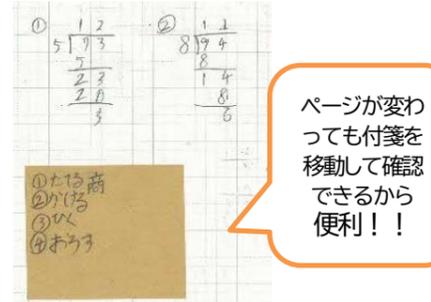
《つますきへの手立て》

① お金の図を囲んで分けることを通して、わり算の場面を捉えさせる。

同じ数ずつわけるわり算なんだね。お金が100円、位ごとに分けて計算できそうだな。

② 筆算の手順を付箋にかいて、ノートに貼る。それを見ながら手順に沿って付箋を見なくてもできるようにするまで繰り返し筆算をする。

1の位を隠して考えると、九九で商がたてられるぞ。



ページが変わっても付箋を移動して確認できるから便利!!

位ごとに分けたら、今までのわり算と同じだ!

- ① 見当
  - ② たてる
  - ③ かける
  - ④ ひく
  - ⑤ おろす
- を繰り返せばいいんだね。

③ 空位がある計算など、手順を応用する問題に取り組ませる。

もう付箋を見なくても筆算ができるようになった! もっとやってみよう!

